

毎週日曜発行
2022 9/25

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



2019年10月12日、静岡県の伊豆半島に上陸した「台風19号」は、広い範囲で観測史上1位となる大雨をもたらしました。福島県や宮城県など全国で洪水や土砂災害が発生し、100人以上が犠牲となりました。台風19号が猛烈に急発達し、大型で強い勢力のまま上陸した原因に、暖かい海の上を進んだことが挙げられます。

台風のエネルギー源は水蒸気です。太陽に暖められた海水は蒸発し、水蒸気となり上昇気流を生みながら空に昇り、雲に変わります。雲になる時に出る「熱」は周りの空気を暖めて上昇気流はさらに強まり、雲が発達して台風になります。海水の温度が高いと水蒸

気量は増えて、どんどん台風燃料を供給することになります。気象庁によると、日本の周りの海水温は、21年までの100年間で1・19度上昇。地球温暖化と台風の関係は、分かっていることも多いのですが、このまま温暖化が進むと、13年にフィリピン

で7000人以上もの犠牲者を出したような「スーパー台風」の発生が増え、日本に襲来する確率が高くなることも心配されています。温暖化は、いつもの雨の降り方にも影響を与えています。近年は、1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨の回数が増えています。空気は気温が高いほど、水蒸気を多くため込む性質がありま

1.5℃
の約束

気候キャンペーンのロゴ

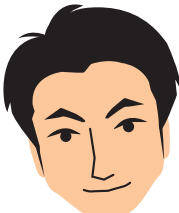
海水の温度が上昇

「スーパー台風」発生が増加

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者 1期生リポート

おりはらアドバイザーの

学ぼう 防災

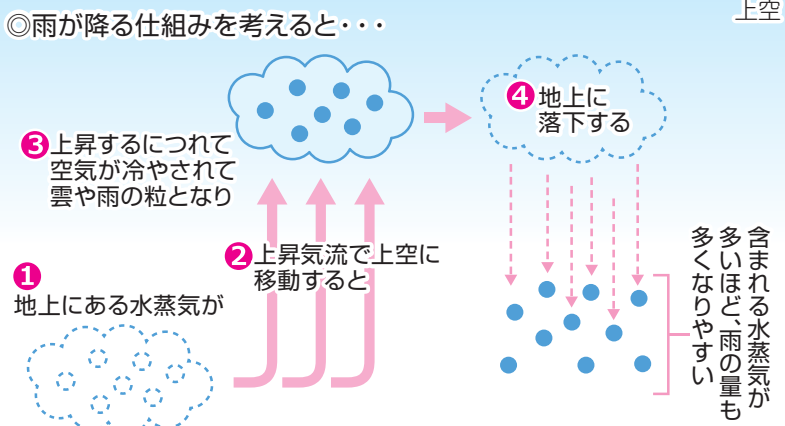


きょうのテーマ



堤防が決壊し、浸水被害が出た宮城県大郷町の吉田川=2019年10月13日

雨の降り方が極端になる理由



温暖化すると

- 一度に運べる水蒸気が増えるので、1回で降る雨の量は多くなる
- 循環する水蒸気の総量はそれほど増えないので、雨の回数は減る

ば雨の回数は減り、降る時は大量にという、極端な気候に向かっていくと予想されています。気候変動で台風や大雨が激しくなれば、今まであふれたことのない川があふれたり、崩れたことがない崖が崩れたりするかもしれません。今まで無かった災害に備えるには、防災についていろいろ学び、「こんな時どうする？」をたくさん考えておくのがポイントです。(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

今週の注目ニュース

◇27日(火) 女性ドライバーの日
1917年、栃木県在住の当時23歳の渡辺はまさんが、女性として初めて自動車の運転免許を取得しました。今では、3700万人以上の女性が免許を持ち、トラックやバス、タクシー業界でも活躍しているよ。

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ